



写真-1 ジャット工法呼び径400先導体

表-1 曲線適用範囲

掘進機呼び径	修正ジャッキ取付け段数	施工可能曲線半径 (R = m)
350	1段	150以上
400	2段	30以上
450、500、600	2段	50以上
700	1段	150以上

急曲線に対応するための先導体には修正ジャッキを2箇所設けています。ジャット工法における曲線の計測方法は、管内に複数設置したCCDカメラセンサを使い、先導体内にあるターゲット(LED発光)を計測することによって、これらから送られる情報を地上のPCにおいて計算処理を行い、計画と施工の誤差を迅速に算出します(図-3、写真-2、3)。

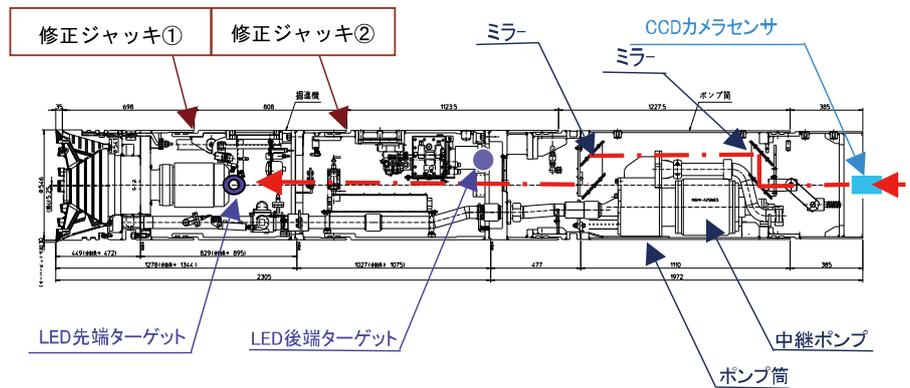


図-3 ジャット工法 先導体、ポンプ筒図

4 長距離推進

小口径の曲線推進の測量と施工を可能にするとともに、先導体後方にポンプ筒(写真-4)と、推進管の中間に滑材注入管を装備することにより、長距離推進施工をも可能になりました。

4.1 ポンプ等

泥水式では、長距離推進を可能にするために掘削した泥水土砂を排土しなければなりません。通常の泥水式(小口径管推進)の排泥ポンプは、発進立坑内にあ



写真-2 先導体内部



写真-3 先導体ターゲット

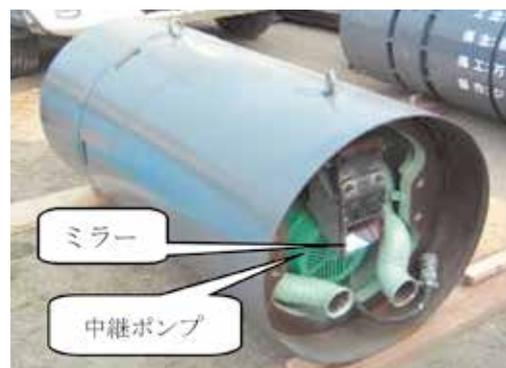


写真-4 ポンプ筒